

DI ニュース

(Drug Information News)
NO. 290
2009年2月
徳山医師会病院 薬局
TEL:0834-31-7716
FAX:0834-32-5349
e-mail:yaku@tokuyamaishikai.com

薬局ホームページアドレス <http://www.tokuyamaishikai.com/yaku/index.htm>

1. お知らせ

アンカロン錠100の【併用禁忌】が一部追記されました。(下線部——追記箇所)
【併用禁忌】1~3 現行通り

4. 薬剤名等

塩酸バルデナフィル水和物(レビトラ®)

クエン酸シルデナフィル(バイアグラ®) レバチオ®

臨床症状・措置方法

QT延長を起こすおそれがある。

機序・危険因子

併用によるQT延長が相加的にあらわれるおそれがある。

アドエア250ディスクス(GSK)の【効能・効果】、【用法・用量】、効能又は効果に関連する使用上の注意、用法及び用量に関連する使用上の注意が一部追記されました。(下線部——追記箇所)

【効能・効果】気管支喘息(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 2刺激剤の併用が必要な場合)
慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎・肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 2刺激剤の併用が必要な場合)

【用法・用量】気管支喘息

通常、成人にはアドエア50エア-2吸入又はアドエア100ディスクス1吸入(サルメテロールとして50µg及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして100µg)を1日2回吸入投与する。

なお、症状に応じてアドエア250ディスクス1吸入(サルメテロールとして50µg及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして250µg)又はアドエア500ディスクス1吸入(サルメテロールとして50µg及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして500µg)を1日2回吸入投与する。

慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎・肺気腫)の諸症状の緩解

成人には、アドエア250ディスクス1吸入(サルメテロールとして50µg及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして250µg)を1日2回吸入投与する。

~効能又は効果に関連する使用上の注意~

1. 気管支喘息

1) 本剤は、吸入ステロイド剤と他の薬剤との併用による治療が必要であり、併用薬として長時間作動型吸入 2刺激剤の投与が適切と判断された患者に対して使用すること。

2) 患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に対し、次の注意を与えること。

本剤は発現した発作を速やかに軽減する薬剤ではないので、急性の発作に対しては使用しないこと。急性の発作に対しては、短時間作動型吸入 2刺激剤(例えば吸入用サルブタモール硫酸塩)等の他の適切な薬剤を使用すること。

2. 慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎・肺気腫)

本剤は増悪時の急性期治療を目的として使用する薬剤ではない。

~用法及び用量に関連する使用上の注意~

1. 患者、保護者又はそれに代わり得る適切な者に対し、本剤の過度の使用により不整脈、心停止等の重篤な副作用が発現する危険性があることを理解させ、1日2回を超えて投与しないよう注意を与えること(サルメテロールキシナホ酸塩の気管支拡張作用は通常12時間持続するので、その間は次の投与を行わないこと)。

2. 喘息患者において、症状の緩解がみられた場合は、治療上必要最小限の用量で本剤を投与し、必要に応じ吸入ステロイド剤への切り替えも考慮すること。
3. アドエア250ディスカス及びアドエア500ディスカスは成人用である（小児の用法・用量は承認されていない）。
4. 慢性閉塞性肺疾患に対して国内で承認されている製剤は、アドエア250ディスカスのみである。

ワーファリン錠1mg（エーザイ）の【併用禁忌】が新設されました。

【併用禁忌】薬剤名等

骨粗鬆症治療用ビタミンK2製剤

メナテトレノン（グラケール®）

臨床症状・措置方法

本剤の効果を減弱する。患者が本剤による治療を必要とする場合、本剤による治療を優先し、骨粗鬆症治療用ビタミンK2製剤の投与を中止すること。

機序・危険因子

ビタミンKが本剤のビタミンK依存性凝固因子の生合成阻害作用と拮抗する。

2. 医薬品・医療用具等安全性情報

(No.254)2009年1月 厚生労働省医薬食品局 【概要】

1 「医薬品医療機器情報配信サービス」について

医薬品医療機器情報配信サービスに登録してください。

（医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務に必要な情報が、無料で、どこよりも早く、正確に入手できます。）

1. はじめに

医療法及び薬事法の規定により、医薬品安全管理責任者や医療機器安全管理責任者は、医薬品や医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品等の安全使用を目的とした改善のための方策を実施し、情報収集・管理を行い、必要な情報について当該情報に係る医薬品等を取り扱う従業者迅速かつ確実に周知徹底を図る必要があります。

迅速な安全性情報の収集を可能にし、その業務を円滑に実施するため、医薬品等の安全性に関する特に重要な情報が発出された際に、電子メールによる情報配信を行う「医薬品医療機器情報配信サービス」があり、以下のURLから無料で登録できるので、積極的にご活用ください。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構「医薬品医療機器情報配信サービス」

<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html>

医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、平成20年12月4日付け厚生労働省医政局長・医薬食品局長連名通知「医薬品の販売名の類似性等による医療事故防止対策の強化・徹底について（注意喚起）」において、「医薬品医療機器情報配信サービス」の積極的な活用が求められているところです。

2. 医薬品医療機器情報配信サービスの仕組み

本サービスは、厚生労働省から出される「使用上の注意の改訂指示」、「医薬品・医療機器等安全性情報」のほか医薬品等の製造販売業者から出される「緊急安全性情報」や「回収情報（クラス）」など重要な情報が発せられた場合に、予め登録された電子メールアドレスに対して、これらの情報が発出されたこととその情報を閲覧するためのリンク先を電子メールでお知らせする無料の情報配信サービスです。

本サービスに登録することで医療現場で働く医療関係者は、医薬品等の重要な安全性情報をタイムリーに入手し、安全対策に役立てることが出来ます。

3. 医薬品医療機器情報配信サービスにより配信される情報

配信情報（平成21年1月現在）は以下のとおりです。

緊急安全性情報

「緊急安全性情報」は、医薬品等の製造販売業者が作成した情報であり、緊急に安全対策上の措置をとる必要がある場合に発出されます。

医薬品・医療機器等安全性情報

「医薬品・医療機器等安全性情報」は、厚生労働省において収集された副作用情報をもとに、医薬品等のより安全な使用に役立てていただくために、医療関係者に対して情報提供されるものです。

原則として毎月発出されます。

使用上の注意の改訂指示

「使用上の注意の改訂指示」は、厚生労働省が医薬品等の製造販売業者に対して行った使用上の注意の改訂指示の情報です。

医薬品安全対策情報（DSU）

「医薬品安全対策情報（DSU）」は、医薬品を使用する上での新たな注意事項について、製薬業界が取りまとめた情報です。

自主点検通知

「自主点検通知」は、厚生労働省が発出した医療機器の自主点検に関する通知です。

回収情報（クラス ）

「回収情報（クラス ）」は、医薬品、医療機器の回収（リコール）情報のうち、クラス （その製品の使用等が、重篤な健康被害又は死亡の原因となり得る状況をいう。）に関する情報です。

これらの情報から自分に必要な情報だけを選択して電子メールで受け取ることができます。

4. 医薬品医療機器情報配信サービスへの登録方法

本サービスを受けるには、登録が必要です。病院等の医療関係施設、薬局、医薬品等の製造販売業者、医療関係教育機関などに所属されている方なら登録可能です。http://www.info.pmda.go.jp/info/idxp_ush.html から必要項目（組織名称、氏名、メールアドレス等）を入力し登録を行ってください。

登録の際に自分の希望する配信情報を登録することで、必要な情報だけが電子メールによって配信されます。本サービスは無料です。

現在、我が国の病院・診療所・調剤薬局数は約23万施設といわれています。しかしながら、平成20年12月末までの本サービスの登録数は17,924件にとどまっています。

医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を中心に、より多くの医療関係者の方にご登録いただき、医薬品等の安全対策に積極的にご活用いただくよう、お願いいたします。

2重要な副作用等に関する情報

【1】経腸成分栄養剤（エレンタール、エレンタールP、エンシュア・H、エンシュア・リキッド、エンテルード、ツインライン、ハーモニック-F、ハーモニック-M、ラコール）

1. エレンタール、エレンタールP、エンシュア・H、エンシュア・リキッド、ツインライン、ハーモニック-F、ハーモニック-M、ラコール

当院採用品：エンシュア・H、エンシュア・リキッド

当院臨時採用品：ラコール

《使用上の注意（下線部追加改訂部分）》

[禁忌]

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

[副作用（重大な副作用）]

ショック、アナフィラキシー様症状：ショック、アナフィラキシー様症状を起こすことがあるので、観察を十分に行い、**血圧低下、意識障害、呼吸困難、チアノーゼ、悪心、胸内苦悶、顔面潮紅、そう痒感、発汗等**があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2. エンテルード

当院採用品：なし

販売名（会社名） エンテルード

《使用上の注意（下線部追加改訂部分）》

[禁忌]

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

[副作用（重大な副作用）]

ショック、アナフィラキシー様症状：ショック、アナフィラキシー様症状を起こすことがあるので、観察を十分に行い、**血圧低下、意識障害、呼吸困難、チアノーゼ、悪心、胸内苦悶、顔面潮紅、そう痒感、発汗等**があらわれた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

【2】ロルノキシカム

当院採用品：ロルカム錠4mg

《使用上の注意（下線部追加改訂部分）》

[副作用（重大な副作用）]

劇症肝炎，肝機能障害，黄疸：劇症肝炎等の重篤な肝炎，AST（GOT），ALT（GPT），γ-GTP，AI-P上昇等を伴う肝機能障害，黄疸があらわれることがあるので，観察を十分に行い，異常が認められた場合には，投与を中止し，適切な処置を行うこと。

3．新規収載医薬品

2009年1月16日薬価収載

インテレンス錠100mg	
製造・販売	ヤンセンファーマ
分類	内用薬：「HIV-1感染症」を効能・効果とする新有効成分含有医薬品(新有効成分)
一般名	エトラピリン
薬価	100mg1錠 619.80 円
効能・効果	HIV-1感染症
用法・用量	通常、成人にはエトラピリンとして1回200mgを1日2回食後に経口投与する。投与に際しては、必ず他の抗HIV薬と併用すること。
シーエルセントリ錠150mg	
製造・販売	ファイザー
分類	内用薬：「CCR5指向性HIV-1感染症」を効能・効果とする新有効成分含有医薬品(新有効成分)
一般名	マラビロク
薬価	150mg1錠 2,278.80 円
効能・効果	CCR5指向性HIV-1感染症
用法・用量	通常、成人にはマラビロクとして1回300mgを1日2回経口投与する。なお、投与に際しては必ず他の抗HIV薬を併用し、併用薬に応じて適宜増減すること。本剤は、食事の有無にかかわらず投与できる。

4．薬事委員会報告

1.新規常備医薬品

1) 新規医薬品

内服

品名	規格	包装	包装薬価	薬効
ジェニナック錠200mg	200mg	100錠	29,030	キノロン系経口抗菌剤

2) 規格及び剤型の追加

外用

品名	規格	包装	包装薬価	薬効
フルタイド200ディ スカス	200mg 607リスタ -	1個	3,013.9	吸入用ステロイド喘息 治療剤

2.常備中止医薬品

内服

品名	在庫	薬効	代替医薬品
ノイエルカプセル20 0mg	0	粘膜防御性胃炎、 胃潰瘍治療剤	ノイエル細粒40%

外用

品名	在庫	薬効	代替医薬品
フルタイド200口タ ディスク	47リ スター 27枚	吸入ステロイド喘 息治療剤	フルタイド200ディスクス

5 . Q & A コーナー

白色ワセリンは撥水効果があるか？
ある。

造影剤のガストログラフィンを誤嚥するような人に飲ませてもよいか？
あまり良くない。誤嚥を調べる為に非イオン性の造影剤イオパミロンを適応外使用する例あり。

6 . ドライアイ

最近ドライアイという言葉をよく耳にするようになりました。今回はドライアイについて簡単にまとめてみたいと思います。

ドライアイとは？

ドライアイは、涙の量が減り、涙の質が変化して、目が乾いた結果、さまざまな症状がおきる病気です。長時間、コンピューターやテレビゲームなどをしていると、気づかぬ間に目を酷使しています。この間にまばたきの回数が減少して、目が乾いてしまいます。この目の乾きがドライアイの原因の1つでもあります。

その他にも様々な原因はありますが、現在、日本のビジネスマンやOLの4分の3が、潜在的ドライアイ患者という報告もあります。

ドライアイが進行すると、視力低下や痛み、角膜上皮剥離（角膜が乾燥してはがれる病気）を発症してしまうこともあります。

一つでも、次のような不快な症状があてはまる場合は要注意！

- ・目が乾く
- ・目がゴロゴロする
- ・視力が落ちてきた
- ・目が痛い
- ・光がまぶしい
- ・涙が止まらない
- ・目が重い
- ・視界がかすむ
- ・涙が出ない

目が乾きやすい人はこの病気にも注意

『シェーグレン症候群』・・・

これは免疫の異常による全身病で、涙や唾液などが出にくくなるものです。たとえば、目が乾いてゴロゴロと異物感があつたり、口が渇いたりといった症状が出ることもあります。現在、患者のうち9割以上が女性で、40歳以上の方に多いという統計が出ています。

ドライアイの主な原因

涙の質・量の低下（涙液が正常ではない）

高齢、夜遅くまで起きている、ストレスが多いなど（生理的要因）

病気、ある種の降圧剤や精神安定剤など

まばたきが少ない

コンピューター、ワープロ、眼を酷使する作業（運転、細かい作業、読書など）

涙が蒸発しやすい

眼が大きい、乾燥した部屋など

その他

コンタクトレンズ、アレルギー性結膜炎、大気汚染、紫外線など

ドライアイの検査

眼の疾患を探る視力検査、眼の傷の有無・程度を探る顕微鏡検査、涙の質を調べるBUT検査、涙の量を調べるシルマー検査があります。

ドライアイの治療

ドライアイは、症状や原因が様々で、単なる一時的な不快感・不調との区別がつけられないため、眼科医でなければ正しい診断・治療を行うことができません。

放置しておくと、知らないところで症状が悪化し、合併症を引き起こします。

ドライアイは、生活習慣や他の病気などにより、涙の量や質が変わってしまうことで起こる病気です。そのため、市販の目薬で水分を補うだけでは十分ではない場合もあります。

また、市販の目薬や水道水による洗眼は、かえって病状を悪化させてしまうこともあります。

* 点眼液による治療

ドライアイの治療に使われるおもな点眼液は、涙に近い成分をもつ人工涙液とヒアルロン酸を含む角膜上皮障害治療剤の2種類です。

人工涙液とヒアルロン酸を含む角膜結膜上皮治療剤の2種類を比較したのが、下図の表です。ヒアルロン酸には粘性があり、水分を保つ効果があります。水分を補給するだけでなく、涙や点眼液を目の表面に長く保てることから、角膜の傷の修復につながります。

働き	人工涙液	角膜結膜上皮障害治療剤（ヒアルロン酸を含む目薬）
水分の補給		
水分を保つ	×	
傷を治す	×	

点眼液で効果が得られない場合は、涙点閉鎖による治療を行います。涙の排出口である涙点を閉じ、涙の流出を抑えて、涙を目の表面に十分にためる方法です。涙点にシリコンや合成樹脂製の涙点プラグを挿入します。また、涙点閉鎖の治療には、涙点を縫い合わせる涙点閉鎖術もあります。

ドライアイにならないために

努力してまばたきの回数を増やす

パソコンのモニター画面を眼より低いところにセットする

加湿器で室内の乾燥を防ぐ

「目の疲れ」にも注意する

参照：参天製薬・ロート製薬ホームページ